

# すそのん 議会だより



すそのん

## 3月定例会 No.119

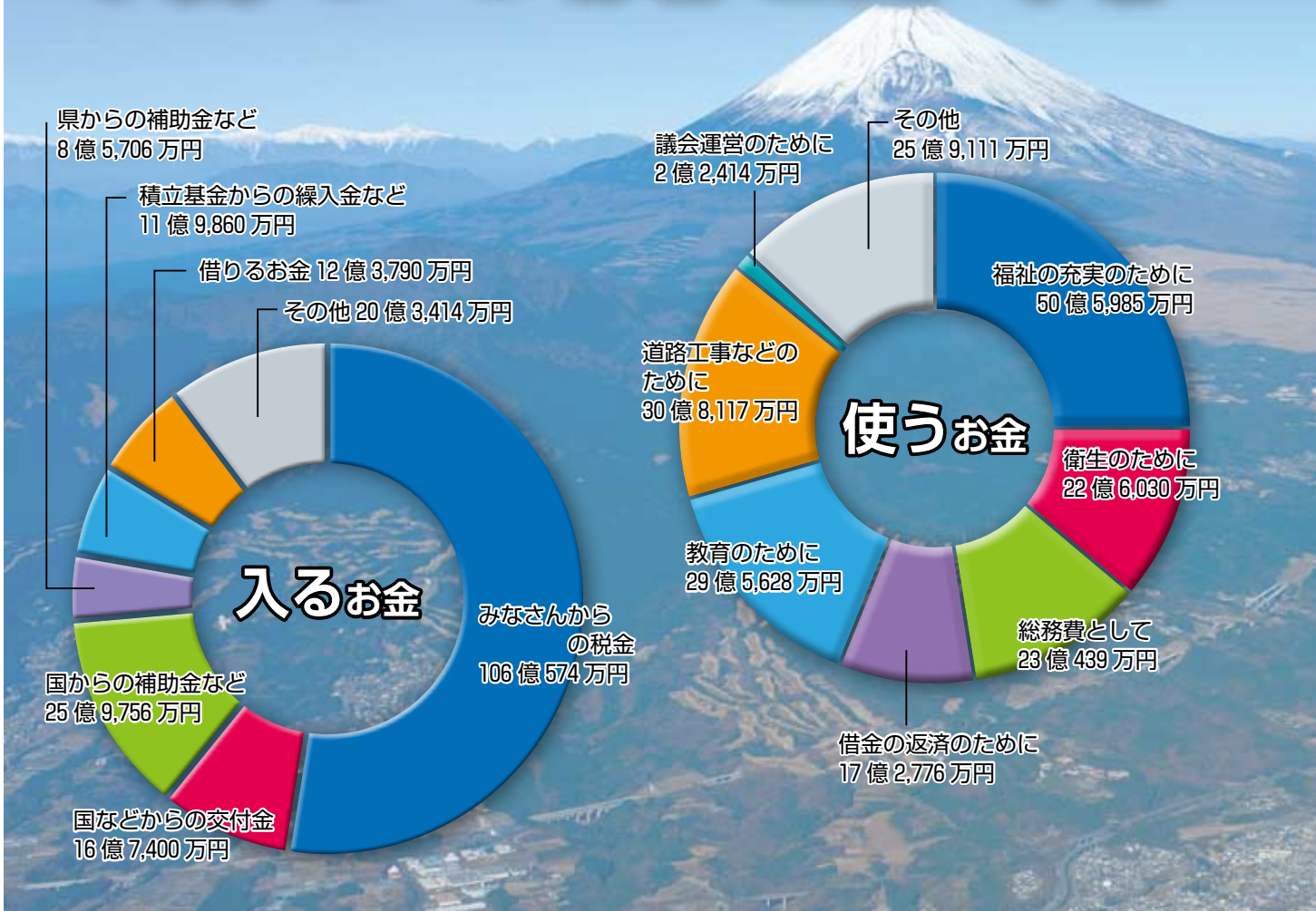
平成27年5月15日

発行：裾野市議会

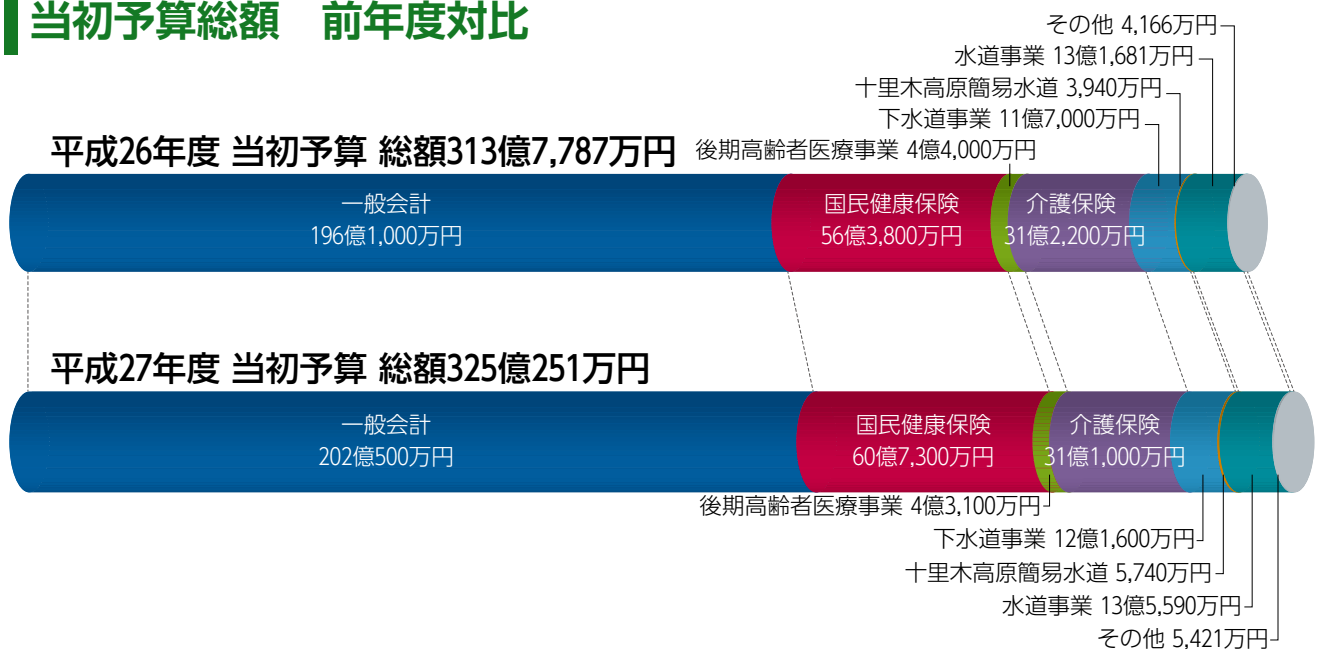
- 平成27年度予算は  
『暮らし満足都市』への将来投資型予算 … 2~3
- 総括質疑・議案の主な質疑 …… 4~6
- 予算審査を実施! …… 7~9
- 一般質問 16人が市政を問う …… 10~17
- 行政視察報告、議会改革報告 …… 18~19
- 「議会報告会」へご参加を …… 20

# 平成27年度 一般会計当初予算は202億500万円

## 『暮らし満足都市』



### 当初予算総額 前年度対比



# 実現への将来投資型予算

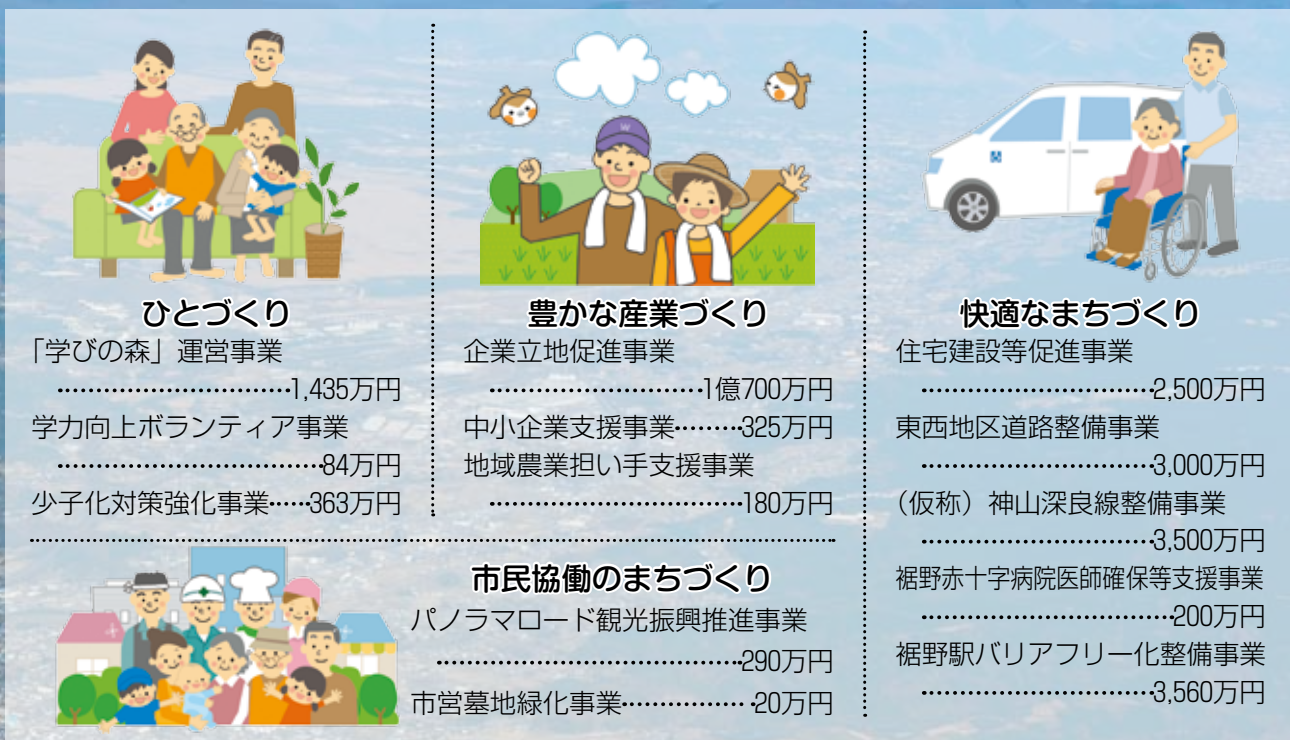
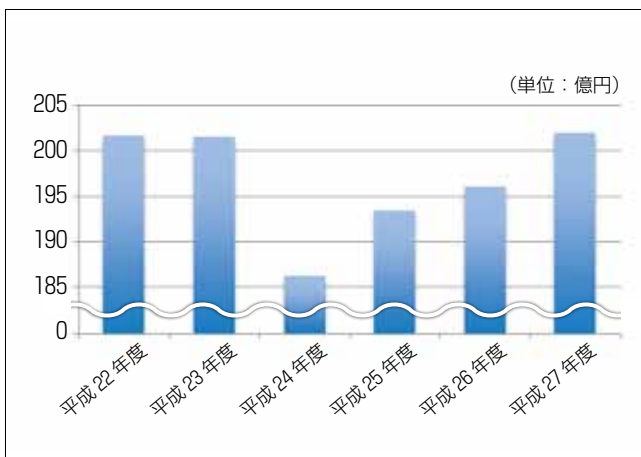
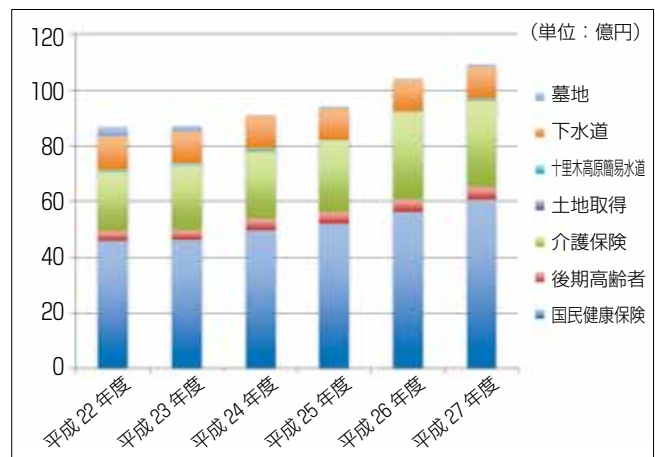


図1 当市の一般会計予算比較表(平成22年度～平成27年度)



一般会計予算は、リーマンショック以降法人税などの減収により縮小されてきた。平成27年度において、法人税などの増収により、リーマンショック以前とほぼ変わらない水準まで回復している。

図2 当市の特別会計予算比較表(平成22年度～平成27年度)



特別会計予算は、歳入が減ったリーマンショック以降も増え続けている。国民健康保険をはじめ、介護保険などの社会保障関連の予算が、高齢化などの社会現象に伴い緩やかに増額している。

## 総括質疑

法人市民税の見込みについて国内経済動向も反映し15億1,000万円を見込んでいるが、平成26年度の8億50万円より88.7%増と高く見込んでいることの要因は。

88.7%増の要因は、税収上位の3社で約7億5,000万円の増額、その他企業で1億6,000万円の増額となる予定のため。

子どもたちに質の高い教育を提供するために1,435万円の予算で開設される「学びの森」とは具体的にどのようなものなのか。

- ・第一は教職員の研修体制の充実で、2・3年目の教員にテーマ研修を行う場を設けること。
- ・第二は学校と地域の連携強化の推進で、学校と地域が連携する方法を探る場を設けること。
- ・第三は児童生徒を取り巻く教育相談について、教師と保護者が話し合える場を設けることである。

東西地区道路整備計画に基づく道路整備事業として3,000万円が予算計上されているが、具体的な整備箇所は。

裾野高校西側から県道沼津小山線にかかる道路約209mと、佐野地先の住友理工寮西側の道路新設約270mの2本を予定している。

裾野駅構内にエレベーターなどを整備しバリアフリー化を図る工事に対して助成する「裾野駅バリアフリー化整備事業」について、平成27年度に予定されている工事の内容は。

平成27年度は仮設工事を行う。本体工事実施時に支障となる土木ケーブル防護枕木や信号・出発反応標識、通信ケーブルなどの移転工事、工信用通路の設置工事を予定している。

長泉町と連携して基本構想を策定する「新斎場基本整備計画策定事業」について、今後想定される長泉町との連携に関するスケジュールなどについては。

平成27年度は、両市町で策定している基礎調査をもとに、統一的な基本計画を策定し、施設規模などの基本的事項を把握し、広域連携への動向を見極めながらスケジュールを立ててい

く予定である。

生活困窮者からの相談に対応するための相談窓口などの拡充を図る「生活困窮者自立支援事業」についての具体的内容は。

自立相談支援事業および住居確保給付金の支給のほか、任意事業として一時生活支援事業を実施する予定である。

(仮称) 神山深良線の推進見込みはどうか。

御殿場市と連携して、事業を着実に進めている。本年2月に、裾野・御殿場市の自治会関係役員に説明会を開催し、4月に地元説明会を計画している。道路線形が未定なため、広範囲の地権者を集め、説明する予定である。

平成27年度から市役所内の組織改編があるが、狙いやメリットは何か。

戦略機能の強化、特定業務専門監の配置など各種施策などの連携を強化し、一体となって推進することで、社会情勢などの変化に応じた組織改編になっている。



## 討論・採決 平成27年度 一般会計予算に対して

### 反対

国が消費税増税や医療、介護などの社会保障の切り下げや負担増を進める一方で、大企業への優遇策も進めているため、住民間の格差が広がりがつある。地方自治体は、住民の暮らしを守り福祉向上のために全力で取り組まなければならない。以下の税金の使い方について指摘する。①大型公共事業である裾野駅西土地区画整理事業の区域が縮小されていない。②国民健康保険税の引き上げを抑えるための一般会計繰入金が増額がされていない。③低所得者対策として所得階級に応じた減免制度が適用されていない。④新規事業の予算を確保するために、既存事業の予算を減額するという枠予算の弊害が残っている。⑤消費税増による学校給食値上げ分が、地方消費税交付金で賄われていない。以上5点から新年度予算に反対し転換を求める。

### 賛成

予算総額は、前年度に比べ3%の増額である。税収以外では国・県の補助金や市債などの特定財源を積極的に活用し、財政調整基金の取り崩し額を極力抑えるなど、健全な財政運営を心掛けている。

定住人口増加策や企業の立地維持などの将来投資事業を継続しながらも、ひとつづくりなど将来を見据えた事業にも重点を置いている。10年、20年先を見据えた各種基本計画、総合計画、国土利用計画、都市計画マスタープランなどの策定に大いに期待できるものであり、メリハリのある予算編成であると理解できる。

## 議案に対する主な質疑

### 第 15 号議案

裾野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

市議会議員の報酬などを市特別職報酬等審議会からの答申を受けて、平成 26 年 4 月 1 日から報酬の増額を適用開始するとの議案。

### 第 15 号議案修正案

第 15 号議案の報酬引き上げ日程を平成 26 年 4 月 1 日から、答申を受けた後の平成 27 年 4 月 1 日に修正するもの。

### 修正案に反対

市議会議員は、選挙により選ばれた市民の代表である。本議案にある市議会議員の報酬を審議する報酬審議会メンバーもまた、市内様々な組織団体の代表の方々である。これら市民の代表が熟慮を重ね決定した結果を議会は重く受け止め、民意を深く理解する必要がある。よって反対する。

### 修正案に賛成

市特別職報酬等審議会の意見は、改選後の議員に対して議会が市民の声を反映させるために、その職務にふさわしい報酬を得て、地方創生のリーダーとして活躍することを期待しての増額であると読み取れる。そのため対象を過去の議員に対してまで拡大して解釈することは難しいことから、平成 27 年 4 月 1 日から適用する修正案に賛成する。

### 第 15 号議案修正案採決

**採決** 第 15 号議案に対し修正案が提出され、反対討論・賛成討論の後に採決が行われた。賛成 11 に対し反対 8 の結果で修正案は可決となった。

### 第 29 号議案修正案

平成 26 年度裾野市一般会計補正予算（第 6 回）に対する修正案

**修正に関する詳細な説明は。**  
議員報酬月 5,000 円×21人×12カ月分が 126 万円、その期末手当 21 人分が 38 万 4,000 円で、それぞれ不要となった。よって議員報酬は増額せず、議員手当は 244 万円減額に修正した。

### 第 38 号議案

裾野市立幼稚園授業料等徴収条例の一部を改正することについて

これは国の子ども・子育て支援法が平成 27 年 4 月 1 日から施行されることに伴い、市立幼稚園の授業料を一部改正する議案。

市立幼稚園のみならず、私立幼稚園も新制度に移行する場合は、この条例を参照するとあるが、私立幼稚園は移行する義務があるか。

私立幼稚園が新制度に移行しなければならないという義務はない。また、平成 27 年度は、市内の私立幼稚園で新制度へ移行する幼稚園はないと把握している。

私立幼稚園が新制度へ移行しない場合の入園料や保育料はどのようなになるのか。

移行しない場合は今まで通り、各私立幼稚園が定める料金となる。

私立幼稚園へのこれからの助成のあり方の考えは。

平成 27 年度は新制度へ移行する私立幼稚園はないので、従来通りの助成をさせて頂く。28 年度以降については、新制度へ移行する幼稚園がある場合は、新制度に沿った助成を考える。

### 第 41 号議案

平成 26 年度 裾野市一般会計補正予算（第 7 回）

補正予算は、市が平成 26 年度中に「当初予算」を補う形で組まれる予算。その第 7 回補正予算のための議案。

商工費に組み込まれている裾野市プレミアム商品券の詳細について伺う。

発行は平成 27 年 7 月以降を予定し使用期限は 6 カ月。またプレミアム率は 20% で一人当たり 1 セット 5,000 円を上限とし、6,000 円の商品券に換金する。世帯数などを考慮し 25,000 セット用意し 1 億 2,500 万円にプレミアム分 2,500 万円を入れた 1 億 5,000 万円分を発行する予定。

総合戦略策定に総合戦略調査委託費用が上がっているが、コンサルタント業者が入るにあたり、その主導権をコンサルタント会社がもってしまうのではないかと懸念があるが、いかがか。

コンサルタント会社には分析や情報収集などの業務をお願いする。総合戦略策定については、この分析や情報収集をもとに市役所内プロジェクトチームが市民の意向などを踏まえ原案を作成し、庁内で協議のうえ策定していく。

# 議案の賛否

※賛否の分かれた案件のみ記載しています。その他の案件は、全員賛成で可決されました。

※議長（二見榮一）は採決には加わりません。

※二ノ宮議員は、インフルエンザのため2月24日～28日まで出席停止でした。

議案	議員名	岩井良枝	中村純也	井出悟悠	村田悠博	廣瀬圭介	小田圭規	杉山茂規	佐野利安	土屋秀明	二ノ宮善明	三富美代子	杉本平治	賀茂博美	芹澤邦敏	増田喜代子	岡本和枝	小林俊	内藤法子	杉本和男	勝又明	二見榮一	結果	
第1号議案 平成27年度 一般会計予算		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
	市の平成27年度の運営のために必要な予算を計上した議案。																							
第15号議案修正案 裾野市議会議員の 議員報酬及び 費用弁償等に 関する条例の 一部改正の修正		○	○	○	●	○	○	○	●	●	欠	●	●	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	修正案可決 (賛成多数)
	第15号議案の報酬引き上げ日を平成26年4月1日から、答申を受けた後の平成27年4月1日に修正するための議案。																							
第15号議案 裾野市議会議員の 議員報酬及び 費用弁償等に 関する条例の 一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	修正部分を 除く 原案可決 (賛成多数)
	市議会議員の報酬などを市特別職報酬等審議会からの答申を受けて、平成26年4月1日から報酬の増額を適用するための議案。																							
第20号議案 裾野市 国民健康保険税 条例の一部改正		●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
	国民健康保険税の賦課割合などを見直すことについて、市国民健康保険運営協議会の答申を尊重し、国民健康保険の財政運営の健全化を図るため、裾野市国民健康保険税条例の一部を改正するための議案。																							
第21号議案 裾野市介護保険 条例の一部改正		●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
	介護保険事業計画の見直しなどにより、平成27年度から平成29年度までに必要なサービス量を確保するための保険料の改定などを行うため、裾野市介護保険条例の一部を改正するための議案。																							
第29号議案修正案 平成26年度 一般会計補正予算 (第6回)の修正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正案可決 (賛成多数)
	第29号議案原案内に計上されていた、第15号議案原案の議会費を予備費に組み替えるための議案。																							
第29号議案 平成26年度 一般会計補正予算 (第6回)		●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正部分を 除く 原案可決 (賛成多数)
	補正予算は、市が平成26年度中に「当初予算」を補う形で組まれる予算である。その第6回目補正予算のための議案。																							

※賛成は○、反対は●で表記しています。

# 常任委員会で 予算審査



総務委員会の審査は、3月4日、5日、6日に行われました。

## 総務委員会

### 【企画部】

#### 財政課

**Q** 新公会計制度整備のスケジュールは。

**A** 平成 26 年度固定資産税台帳の整備を行い、あわせて財務諸表の作成委託を行う。

#### 企画政策課

**Q** ラッピングバス事業の内容は。

**A** 高速バス 2 台、路線バス 1 台に現在ラッピングされている富士山デザイン広告掲載料である。

#### 市長戦略課

**Q** 市長印などの庁用役務費は毎年必要か。

**A** 各担当部に配備してある市長印などが破損した場合に備えて計上する。

### 【議会事務局】

**Q** 議員共済負担金の増額理由は。

**A** 統一地方選の関係で全国で多くの議員の退職が見込まれるため。

### 【総務部】

#### 課税課

**Q** 個人市民税の増額理由は。

**A** 納税義務者数 2 万 9,210 人と見込んだ。人数は減るが給与が上がるとの見込み。

### 管理納税課

**Q** 県の滞納整理機構の予算減額の理由は。

**A** 機構に移管した前々年度の徴収実績割額による差である。

### 人事課

**Q** 時間外勤務手当、休日勤務手当の合計予算の増額理由は。

**A** 時間外勤務手当の増は、前年実績値を基に算出、休日勤務手当は振り替えが難しい消防職が中心である。

### 総務管財課

**Q** 公用車数は稼働率・使用状況などから、適正な数か。

**A** 月間走行距離、運行日数を含む利用状況を把握している。台数については、精査し適正化を図っていく。

### 【市民部】

#### 地域振興課

**Q** 市民活動センターの運営委託先は。

**A** 一般社団法人マチテラス製作所を予定。

### 生活環境課

**Q** 合併処理浄化槽設置補助金予算の詳細は。

**A** 5 人槽 27 基、7 人槽 35 基、10 人槽 14 基、入れ替えの上乗せ分 10 基を想定している。



審査の様子

### 美化センター

**Q** 資源ごみの売却料の見込み明細は。

**A** 古紙類 346 万円、アルミ缶 175 万円、鉄がら 431 万円、古着 45 万円など合計 1,084 万円。

### 討論・採決

**討論** 社会保障、行政領域の外部委託、人づくり予算の使い方などへの反対討論と、将来を見据えた事業にも重点を置いた適切な予算配分であるとの賛成討論が行われた。

**採決** 賛成 5、反対 1 で一般会計予算は可決された。

土地取得特別会計予算および墓地事業特別会計予算は、討論もなく可決された。



現地視察（須山最終処分場）

### 総務委員会 — 審査した部・課 —

#### 【企画部】

- 市長戦略課 広報室
- 企画政策課 行革推進室 情報政策室
- 財政課
- 【議会事務局】

#### 【監査委員事務局】

- 【出納課】
- 【総務部】
- 人事課
- 総務管財課
- 検査監
- 管理納税課
- 課税課

#### 【市民部】

- 地域振興課 深良・富岡 須山支所
- 市民課
- 生活環境課 美化センター
- 防災交通課

# 常任委員会で

## 厚生文教委員会

### 【健康福祉部】

#### 社会福祉課、子育て支援室

**Q** 生活困窮者自立支援の各課への連携については。

**A** 現状では、まだ他課への依頼はできていない。必要と判断すれば、連携することを考えている。

**Q** 母子家庭支援の窓口対策は。

**A** 児童扶養手当の現況届を提出するために窓口に来た方には、他の制度についても説明している。

#### 国保年金課

**Q** 後期高齢者保険料の滞納の状況については。

**A** 人数 28人、滞納金額は 197万 7,150 円が現在の状況である。

#### 健康推進課

**Q** がんを減らす健康推進事業でのピロリ菌対策は。

**A** 医師会胃がん部会と、沼津医師会管内2市2町でピロリ菌の検査について検討している。

#### 障がい福祉課

**Q** 移動支援事業費増額の要因は。

**A** 平成 25 年度実績は 9 人で、平成 27 年度は 12 人を予定し、利用者増を考えている。



現地視察（運動公園陸上競技場）

### 介護保険課

**Q** 認知症地域支援推進等事業の内容は。

**A** 認知症の人が住みなれた環境で生活するための支援や認知症の施策に関することを実施する事業である。

### 【教育部】

#### 生涯学習課

**Q** 市民文化センター費特定財源 100 万円については。

**A** 市民文化センター内に身障者でも使用できるトイレの設置と改修をする。

#### 鈴木図書館

**Q** 視聴覚ライブラリーの PR 方法は。

**A** ホームページ、リストの見直しを行い、わかりやすく PR できるよう努めていく。

#### こども教育課

**Q** 西幼稚園の駐車場が遠くなるが、安全対策については。

**A** 通行ルートなど、保護者に注意を促しながら進めている。

幼稚園周辺の安全対策もチェックしていく。

#### 学校教育課

**Q** 授業改善充実助成交付金の内容は。

**A** 授業を行い、その授業について職員をは



審査の様子

じめ、大学などから講師を呼んで指導、助言をいただき、教職員の資質向上を図るもの。

#### 教育総務課

**Q** 学校施設の耐震を含め改修などの計画は。

**A** 耐震診断の結果が出ている。結果に基づいて、耐震補強計画を作成しながら緊急度などを考慮し、計画を立てていきたいと考えている。

### 討論・採決

**討論** 市民の暮らしの面で負担増についてなどの反対討論と、法令遵守、用途などが適正であるとの賛成討論が行われた。

**採決** 賛成 5、反対 1 で一般会計予算は可決された。

国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療事業特別会計予算および介護保険特別会計予算は、討論もなく可決された。

### 厚生文教委員会 — 審査した部・課 —

#### 【健康福祉部】

- 健康推進課
- 介護保険課
- 国保年金課
- 社会福祉課
- 子育て支援室

#### ● 障がい福祉課

#### 【教育部】

- 生涯学習課
- 鈴木図書館
- 教育総務課
- 学校教育課
- 子ども教育課



# 予 算 審 査

産建水道消防委員会の審査は、3月12日、13日、16日に行われました。

## 産建水道消防委員会

### 【消防本部】

**Q** 救急救命士の資格保有者数と充足率はどうか。

**A** 平成27年度に2人養成し、資格保有者は18人になる。充足率の目標は18人。50歳を過ぎるとリタイヤと考えているため、今後も2人体制で教育する。

### 【水道部】

#### 上水道課、下水道課

**Q** 給水収益の減少理由は。

**A** 全国的な傾向だが、節水機器の普及により減収となっている。今後もこの傾向は続く。

**Q** 狩野川流域下水道西部処理区建設負担金は。

**A** 裾野市・三島市・沼津市・清水町・長泉町3市2町の負担分が3億5,598万円。当市は約6,215万円。その内、5,210万円は公債費で賄う。

### 【建設部】

#### 建設管理課、建設課

**Q** 呼子の市道2383号線の工事スケジュールは。

**A** 平成26年度に測量・概略設計を行った。平成27年度は説明会で了承を得て詳細設計。その後用地買収に入る。工事は2年を予定し、完成まで概ね5年を予定している。

**Q** (仮称)神山深良線の整備費は。



現地視察（裾野愛鷹線林道）

**A** 御殿場市と協定を結び、平成27年度は基本設計・測量等委託料7,000万円を両市で2分の1ずつ負担し、3,500万円を計上する。

#### まちづくり課

**Q** 柳端団地1号棟の解体予算と取り壊し後の状況は。

**A** 解体に160万円を計上。残りの3棟は4世帯が入居している。

#### 区画整理課

**Q** 裾野駅バリアフリー化設備等整備事業の進捗は。

**A** 4月に市の補助金の交付を決定する。仮設工事期間は年度末までを予定。

### 【産業部】

#### 農林振興課

**Q** 深良地先の圃場整備の進捗は。

**A** 県営事業として平成27年度から工事着手。3年で完了し水田として利用される。ブランド米の特産化を奨励したい。

**Q** 梅の里の活用の費用対効果は。

**A** 用地借地料約349万円と補償金約912万円と委託料で約1,700万円。事業としては通年憩いの場として市民に開放。今後、要望を踏まえて活用を考える。

**Q** 農産物出展支援補助金の活用は。

**A** 平成27年度は補助率を2分の1から3分の2に上げることも検討する。対象者が認定農



審査の様子

業者などに限定されていたが、農業台帳に載っている農業者へ利用の拡大を図る。

#### 渉外課

**Q** 企業立地推進事業の内容は。

**A** 今里地先の工業用地造成工事は完了した。企業立地の土地取得に20～40%の補助金、市民を従業員に雇用した場合一人当たり50万円の補助金を交付。これに県からの2分の1補てんがある。市単事業で設備投資の3.5%、中小企業には5%の補助金を用意している。

#### 商工観光課

**Q** 富士山雪合戦の補助金増額は。

**A** 200万円は、ボランティアでの運営継続が難しくなったため、人件費などとして補助する。

#### 討論・採決

一般会計予算、十里木高原簡易水道特別会計予算、下水道事業特別会計予算、水道事業会計予算は、討論もなく可決された。

#### 産建水道消防委員会

#### — 審査した部・課 —

#### 【産業部】

- 農林振興課
- 商工観光課
- 渉外課

#### 【建設部】

- 建設管理課
- 建設課
- まちづくり課

#### ● 区画整理課

- 【水道部】
- 上水道課
- 下水道課

#### 【消防本部】

- 消防総務課
- 予防課
- 消防署



ないとうのりこ  
**内藤 法子**

**質** 法13条で空き家および跡地の活用を勧めている。定住人口増加策に空き家バンク設置の考えは。

**答** 通常の不動産物件については、民間不動産業者により全国的な情報サイトなどが提供されている。また政府が都会から地方へ移住希望者向けに全国的なデータベースを構築すべく、2015年度の予算に関連予算を盛り込むとする報道もあるので、作成されるデータベースの内容など、国の動向を注視する。空き家バンクに関する市独自のサイトを構築することや空き家などの跡地の利活用については、今後の検討事項と考える。



い で さとる  
**井出 悟**

**質** 企業立地や既存企業に対する支援として新東名高速道路の活用、スマートインターなどの導入に向けた検討を進めていくのか。

**答** 周辺企業の発展、防災機能面などの政策的観点からも、スマートインターの必要性は認識。しかし市内を通過する新東名の道路構造はトンネルや高架橋が主で、新東名と平面的に接続する箇所が限られており、用地の確保に課題が生じる。問題・課題を踏まえ、近隣市町の状況を確認しながら、スマートインターの可能性について調査・研究をしていく。

**質**

「空き家対策特別措置法」施行に伴う  
空き家の適正管理と活用の方策は

**答**

空き家対策は関連部課が連携し  
空家の実態調査をする方法を検討する

**質**

ふるさと納税の歳入は平成25年度は18万円に対し、市民の他自治体への納付は130万円の控除とマイナス状況が続いていることをどうするか。

**答**

ふるさと納税額が増加した自治体のほとんどが、その増加要因に特典品の充実を挙げている。ふるさと納税額を増やすためには特典品の充実が不可避であることから、広い分野で考えていきたい。

**質**

ふるさと納税は富士山、深良用水などの、世界の遺産を保全するなどの裾野の資産を磨く施策として共感を呼ぶPRができないか。

**答**

市内にある施設、資産、企業を対象に、広い分野で特典品の充実を考えていきたい。

**質**

認知症による徘徊者の早期発見のために、写真や特徴などの情報を予め事前登録する制度を作るべきでは。

**答**

現在準備を進めており、来年度に実施していく。



ふるさと納税（総務省HP）

**質**

放課後児童室の開設時間の延長検討を  
行う必要があるのでは

**答**

運営委託している育成会や指導員と  
話し合い、前向きに検討する

**質**

子育て支援などの充実に向けて幼稚園、保育園、放課後児童室の開設時間の延長を検討する必要があるのでは。

**答**

幼稚園、保育園については、労働内容の変更を伴うので、労働条件の変更を協議する必要がある。また、放課後児童室についても、指導員の勤務時間に影響するので、勤務シフトや運営方法などの変更が必要になる。

しかしながら、定住人口増加策の観点からも、放課後児童室の延長は必要であるため、運営を委託している育成会や指導員と話し合い、前向きに検討していく。

**質**

定住人口の増加施策の効果検証のためには転入、転出理由について調査する必要があると考える。今後の戦略的政策策定の為に転入、転出届受理時にアンケートを実施する必要があるのでは。

**答**

特に転出理由は住民記録データの分析では対応できない貴重なデータと認識。担当部課と調整を図り、転出理由について最小限のアンケート調査を検討する。



新東名高速道路



せり さわ くに とし  
芹 澤 邦 敏

**質** 東名裾野病院から裾野インター線まで延びる市道2-34号線の残り300mの未着工部分は、今後どのように進めるのか。

**答** 市単独の道路改良事業では、非常に金額的に多くかかる部分もあるため、かなり難しい。歩道設置事業などの補助採択メニューなどを研究し、採択できる事業があれば進めたい。西側には現在1.5mの歩道があるので、設置をするならば東側へと考えている。

**質** 同じく市道2-34号線の旧スーパーファミリー前交差点は、夜間歩行者が認識しづらい。道路照明灯を追加設置すべきでは。

質

梅の里公園を魅力アップさせるための  
方策として考えられることは

答

通年楽しめるような花卉<sup>かき</sup>の選定を  
検討し、市内外に魅力を発信する

**答** 歩行者およびドライバーの安全対策として、道路照明灯の設置について前向きに検討したい。

**質** 景ヶ島公園内の現在使用中のトイレは、いつ撤去するのか。また、トイレ新設の考えは。

**答** トイレの撤去については、早急に手続を行い、少なくとも平成27年度中には撤去したい。トイレの新設については、現在、駐車場に仮設トイレを2基設置しているが、地元や来訪者からトイレの新設を求める声を聞いているので、それらの声を踏まえ検討する。

**質** 景ヶ島公園駐車場は大型観光バスの駐車は難しいが、

これに対応できるよう駐車場を拡張する考えは。

**答** 大型バスに対応した駐車場の整備については、駐車場の面積を広げる必要があるのですが、今整備することは難しいと考えるが、隣接の土地を調査し、研究していきたい。



使用中止中の景ヶ島公園トイレ

質

合併処理浄化槽への転換を面的に  
地区ごとに行えば、効果が顕著に

答

面的整備を行う浄化槽市町村整備事業  
があり、調査研究をして行く

**質** 水しか排出しない燃料電池車を開発したトヨタ自動車(株)に、県内他市に先がけての水素ステーション設置の協力をはたらきかけないか。

**答** 県で平成25年2月にふじの国FCV普及促進協議会を設立し、県内の東部、中部、西部地区の各1カ所への水素ステーションの設置について研究をしている。設置に5億円程度という多額の費用が必要な事から、国や県からの支援策などの情報を得ながら、可能性を研究していく。

**質** 緑地でなくとも子どもたちが安心して遊べ、危なくな

い場所を保護者は求めている。遊び場や広場を増やさないか。

**答** 駅西土地区画整理地内に1カ所、公園整備を予定している。今後は市道や河川の整備の際に、余裕地、残地が生じた場合には、設置が可能であればポケットパークとして整備を進めていきたい。

静岡市で平成26年度から無償借地公園制度を実施しており、先進地の事例などを研究し、公園整備などに生かしたい。

**質** 市民意識調査は答える市民と行政とのズレをなくし、事業に活かすために、もっと明確

に的確に意識を確認できる具体的な調査内容に変えるべきでは。

**答** 市民意識調査については、第4次裾野市総合計画の目標指標に設定しており、指標に対する達成率を計るために必要であるという考えもあるが、より市民の意思が確認できるような設問などについても考えていきたい。



水素ステーション



二ノ宮 善明

**質** 今後の病児保育事業の取り組みについての見解は。

**答** ニーズ調査の段階で思ったほど利用したい方がいなかった。子どもの病気については、父母など近親者の看護が得られる状況が好ましい。市内の医療機関で名乗りを上げてほしいというところがあれば市としても歓迎し、出来る応援をするという気持ちはある。

**質** 西地区ゾーン30実施後、他地区へ拡大することへの見解は。

**答** 今後の検討場所としては、深良小学校および富岡第一

質

今後の放課後児童健全育成事業の  
取り組みについて

答

高学年児童も利用可能となるので  
施設・人材の確保を図っていく

小学校周辺が対象になると思われる。範囲指定について継続的に裾野警察署と協議していきたくと考えている。これから警察のほうと協議していくのでいつごろかという明確なお答えは出来ない段階である。

**質** 裾野駅周辺に市民のための駐車場整備の見解は。

**答** 駅前パーキング閉鎖時に利用者から代替要望があると報告を受け、対応を協議している。ご不便をかけていることは認識している。当初予定に計画されていなかったため、駐車場予定地が確保されていない状況である。現在、

換地案を見直している状況で、その中で駐車場を設置できる場所を考慮し、検討をしていきたいと考えている。当初あった駐車場のように、駅の近くに設置できればよいが、現時点では駐車スペースは確保できていない。



ゾーン30 (南小周辺)



三富 美代子

**質** 認知症を患っている方や、そのご家族の居場所づくりとして認知症カフェ設置についての見解は。

**答** 市介護家族の会主催で認知症を語る会が開催されているが、常設の居場所ではない状況にある。認知症カフェや高齢者の居場所について先進地などの状況も参考に研究していきたい。

**質** 認知症施策として必要な医療機関との連携はどうか。

**答** 日頃からかかりつけ医を持つことが重要と考える。新規事業でもある医療機関とも連携し、認知症初期集中チームの早期

質

地方創生に係る取り組みは

答

先進的事例などの情報収集、  
当市の現状分析を進めている

導入ができるよう研究していきたい。

**質** 「学びの森」運営事業の内容は。

**答** 学校の教育力向上を目標として、①教職員の資質向上、②学校と地域の連携協力の支援、③学校・地域・家庭が抱える要望や課題を相談できる場所の大きな3点を考えている。

**質** 学力向上ボランティア制度の拡充についての見解は。

**答** 拡充はボランティアの方の確保などが大きな課題ではあるが、放課後の学習時間確保や教員との連携を図るなど、各学校

の実情を見ながら進めていく。

**質** 地方創生プロジェクトチームの活動状況は。

**答** 今年度は国からの詳細情報を注視しながら、他市町の先進事例などの情報を収集する。また当市の現状分析を進め、当市に必要な方向性を見出すべく活動している。



学びの森 (生涯学習センター内)



賀茂博美

**質** 組織改編による①行政経営監、②市長戦略監の職務は。

**答** ①行政改革や公共施設マネジメントなどの全庁的な取り組みを推進する役割を担う。②戦略的な情報発信と市長が指示した重要事項への対応、担当部局に進捗を促す役割を担う。

**質** 幼稚園、保育園の事務を健康福祉部に移管する目的は。

**答** 妊娠から出産、子育てまで各施策の連携を重視する。

**質** 市民協働の事務を教育部へ移管することで、地区(区長)への対応に影響はないか。

質

市のサービス、施設等の使用料金等の見直しを実施することについて

答

見直しに着手し、施設担当者と課題整理などの調整を進めている

**答** 区長を中心とした市民協働は以前から行われてきたと認識している。地区との協働と共に社会教育分野でも協働を推進し、市民協働の裾野を広げたい。

**質** 地方創生における国からの支援の活用は。

**答** 情報支援は、将来人口推計データ、ソフトの提供がある。財政支援は、補正予算で地域住民生活等緊急のための交付金を活用。人的支援は、地方創生コンシェルジュ制度の希望を5省庁へ提出済。

**質** 施設使用料は積算根拠を明らかにし、適正な施設の維持

持管理を図ることが必要では。

**答** 行政経営監を中心に各課で対応していく。

**質** FM<sup>\*1</sup>の今後の取組み方針は。

**答** FMPT<sup>\*2</sup>で、業務委託の一括化、大規模修繕など、施設ごとの課題や方向性を検討する。



市民活動センター(生涯学習センター内)

\*1=FM……ファシリティマネジメント \*2=PT……プロジェクトチーム

質

障がい者の一般就労定着のため一般企業との連携を強化しては

答

福祉事業所連絡会などへの参加を依頼するなど企業と協議したい

**質** 障がい者に対する相談支援の体制強化は、平成27年度具体的にどの程度進められるのか。

**答** 平成27年度に新たに社会福祉協議会に委託し、相談支援の強化を図っている。これについては障害福祉サービスの利用の増加、個別計画の作成など対応件数が増えているため、複数の事業者でないと対応が困難となっていることから、体制を拡充する。

**質** 乳幼児虐待予防には地域全体で取り組むべきと考えるが、どのように地域力を活用するのか。

**答** 家庭の環境や個人情報的なものもあるので、一般の方に協力を求めることはないが、本人の承諾があった場合には、地域の民生委員や児童委員に見守りをお願いしているケースもある。

**質** 庁内や関係団体の連携強化のための具体的な取り組みは。

**答** 平成27年度に健康福祉部に子育て支援監を配置し、子育て支援監を中心に、子育て支援に関する関係各課の連携はもちろん、虐待などを含め児童を取り巻くさまざまな問題に関して、学校や幼稚園、保育園、児童相談所、

警察などの関係機関と相互の連携を強化し、情報の共有を推進していきたいと考える。

**質** 地域で継続的な見守りが出来る主任児童委員と情報共有していくことへの見解は。

**答** 主任児童委員に協力をいただき安心して子育てができる環境を目指していきたい。



児童虐待防止啓発(厚生労働省HP)



小林 俊

**質** 防犯カメラなどの映像が事故解析や犯罪捜査に果たす役割は大きい。市民が持つデジカメ、スマホ、ドライブレコーダーなどの映像データを安全、安心なまちづくりに生かしては。

**答** 裾野警察署では、市が設置している防犯カメラのほか、民間事業者などへも協力要請を行っている。警察と連携し、防犯まちづくり推進委員会などを通じ、防犯体制の推進を図っていく。

**質** 市営住宅の入居手続きに連帯保証人の連署した申請書提出を義務づけているが、緩和すべきでは。

質

市民意識調査で具体的な事業に対する賛否などを調べてはどうか

答

必要性を含めて総合的に検討する

**答** 連帯保証人は市内居住者としているが、合理的な理由がある場合には近隣市町の居住者を認めるなど柔軟に対応している。連帯保証人を探すことは大変困難であることは十分承知している。

**質** 市民意識の結果、重要度の高く満足度の低い項目にはどのように対処していくか。どのように平成27年度予算案に反映したか。その後どうするか。具体的な事業(駅西土地地区画整理事業など)に対する賛否などを調べてはどうか。

**答** 前年度と比較し「鉄道やバスの便利さ」の項目では約

2,400万円、「鉄道網の便利さと快適さ、歩道の整備状況」の項目では約8,800万円、「地震災害に強いまちづくり」の項目では約6,500万円を増額計上した。特集調査などで具体的な事項も伺っていることから、市民意識調査の設問は、実施の必要性も含め総合的に検討していく。



上原団地(深良)



岡本 和枝

**質** 生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日から施行され、必須事業として自立相談支援事業と住居確保給付金の支給が実施される。これを機に生活困窮者を真に支援できる仕組みをつくる必要がある。市の相談支援体制はどうか。

**答** 社会福祉課に相談窓口を設置する。自立相談支援員1人、就労支援員1人の計2人が担当する。就労支援員は生活保護受給者対応も兼務するので、実質は1人の増員となる。

**質** 任意事業である就労準備支援事業、一時生活支援事業、

質

「貧困の連鎖」を断ち切るための子どもの学習支援事業の必要性は

答

市単独での実施はかなり難しい

学習支援事業と、必須事業である自立相談支援事業が連携することで、生活困窮者を真に支援できる仕組みになるのではないかと。

**答** まずは現体制で対応ができることから始め、対象者や支援内容などを見ながら、次年度以降に事業実施について検討していきたい。平成27年度に実施しない任意事業について、需要がある場合はより専門的な相談員の増加や、事業者への委託を検討する必要がある。

**質** 住民に最も身近な行政窓口である社会福祉課と他部署の連携はとても重要。連携を強化

するのか。

**答** 市では専門的な分野の相談窓口、社協に委託の「なんでも相談」などさまざまな場所に相談窓口がある。生活の立て直しが必要と職員や相談員が判断した場合には連絡をもらう。各部署との連携は重要と認識している。



社会福祉課



お だ けい すけ  
小 田 圭 介

**質** 利用者にとって望む公園の姿は全く違う。未就学児、未就園児を安全に遊ばせることのできる“子育て応援公園”の整備を。

**答** 公園は幅広い年代の方が安心して過ごすことのできる空間と考えている。今後も都市公園を設置する際には幅広い年代の住民の意見を取り入れたものを計画していく。

**質** 幅広い世代の意見で、幅広い世代にとって使いやすい公園を整備したところで、実際に幅広い世代にとって快適なものにはならないと考える。子育てに特化した公園、高齢者の利用に特化

質

子育て応援に特化した未就学児が安全に遊べる公園の整備を

答

公園は幅広い年代の方が安心して過ごすことのできる空間と考える

した公園の整備が重要ではないか。行政が計画的に整備する都市公園ではなく、地域の中で本当に必要な公園を地域の中からの声で作っていく必要があるのでは。

**答** あまり大規模に費用をかけなくても、地域に属するような、地域の方々に管理してもらえるような公園も研究していきたい。

**質** 市の補助金などを受けずに自分達の負担だけで頑張っている市民活動団体がある。市の予算を伴わない市民活動については情報を掴みにくいところであるが、活動の評価は活動者のモチ

ベーションをあげる。後方(広報)支援に力をいれるべきでは。

**答** 広報室の情報提供ボックスの活用や市の公式Facebookページの中で市民活動団体の主催するイベントなどの情報についても取り上げる機会を増やすなど、積極的な情報発信に努めていきたい。



伊豆島田公園



すぎ もと へい じ  
杉 本 平 治

**質** 墓地事業地の取得費および全墓域工事にかかる工事費は。

**答** 土地取得費などは、8,465万3,000円、全墓域の工事費の見込額は約8億5,200万円。

**質** 墓地事業において、墓域内の全区画の完成予定は。

**答** 造成完了日は平成36年度を予定している。毎年度55区画の販売見込みで、平成49年度を販売完了予定とする。

**質** 販売開始から、市職員および市内企業の従業者(OBも含む)の購入者の総数は。

**答** 市職員の購入者数は平成26年度現在で十数人、市

質

墓地分譲販売に対し公共と民間では大きな違いがある。PRの方法は

答

年2回の販売に合わせ「広報すその」などで実施。必要に応じて検討する

外在住の市内在勤者は平成25年度で11人。

**質** 墓地販売を推進するにあたり、人口減少社会をどう捉えているか。

**答** 定住人口の維持あるいは増加に向けて取り組み、定住人口が減少したとしても最小限になるよう考えている。

**質** 墓地販売事業を行うにあたり、最も留意すべき点は。

**答** 現段階では市民および市内在勤者への販売を考えているが、状況を見ながら販売方法などの検討も必要となる。

**質** 近年、社会において墓地のあり方、考え方が大きく変わりつつある。当市の墓地販売も社会の変化に対応し、見直していくのか。

**答** 現在までは予定どおりであると判断している。墓地のあり方については、社会的変化も十分認識している。状況により検討していきたい。



市営墓地(深良)



ひろ せ きみ ひろ  
**廣 瀬 主 博**

**質** 全国・県と比較して現在の市の公園の数、面積ともに充足しているのか。

**答** 現在の都市公園などの整備状況は、政令指定都市を除く全国平均1人当たりの公園面積が11.4㎡、県の平均が9.1㎡となっている。市の1人当たりの公園面積は4.17㎡であり、都市公園面積は国・県の平均値より少ない状況である。しかしながら、都市公園以外の偕楽園や梅の里、市営総合グラウンドなどの公園、公共空地などを含めた1人当たりの公園面積は17.6㎡である。



いわ い よし え  
**岩 井 良 枝**

**質** 3歳児幼稚園入園は抽選ではなく、希望する全ての子どもが入園できることが必要と思うが見解は。

**答** 平成28年度から公立幼稚園の3歳児クラスの定員を増加して25人以内にすることや、私立幼稚園にも定員の拡大をお願いするなど就園を希望する全ての園児の受け入れを目指していく。

**質** 西幼稚園の通園範囲が広すぎる、入園希望が増えているなど考えると、南地域に幼稚園設置が必要と考えるが見解は。

**答** 西地区以外にも通園距離の長い学区がある。新たに公

**質**

住環境の整備の一環としての公園整備は重要だと考えるがどうか

**答**

各地域にある既存の公共緑地などを有効に活用していきたい

**質** 都市公園以外の公共緑地を加えると十分な面積があるが市民意識調査の満足度と大きな隔たりをどう考えるか。

**答** 市内には公共的な空き地はある程度あり、整備の進んだ公園が身近にないことが意識調査による満足度が伸びない一因だと考える。

**質** 住環境の整備の一環である公園整備は重要だと考えるが新たな新設計画はあるのか。

**答** 現在街区公園以上の規模で公園整備として計画されているものは、駅西土地区画整理事業地内の公園の整備の1カ所だけ

で、当面はそれ以外の整備の計画はない。

**質** 無償借地公園制度やそれ以外の方法で今後公園を増やすために何か考えているか。

**答** 無償借地公園制度については、当市でも参考となる事例と考える。その他の公園の整備に関する整備方法もアンテナを広げ、当市に導入できるかどうか検討していきたい。



水沢公園（呼子）

**質**

3歳児の幼稚園入園抽選問題の早期解決と子育て世代の望む応援を

**答**

就園を希望する全ての園児の受け入れを目指していく

立幼稚園の追加設置は考えていない。新規参入事業者があれば、応援していきたい。

**質** ニーズ調査の結果からも公立幼稚園・保育園への入園希望が多く、公立・私立の選択肢をなくすべきではないと考えるが、見解は。

**答** 公立幼稚園の取り組みを多くの方に評価していただいていることに感謝している。しかし、評価を得る幼児教育は、公立だけが実施しているものではない。私立の魅力を発信すること

も事業者と協力して進めていく。公私立、市内にある施設をフル稼働させて市民ニーズにしっかり答えていけるよう制度も研究していきたい。



西幼稚園（佐野）





すぎやま しげあき  
杉山茂規

**質** 学校給食で市内産食材を使うことによる子ども達への効果と、地産地消の促進による地場産業の活性化の効果は。

**答** 地元の産物や食文化を知り親しめる点。地場産業の活性化と地産地消の促進に効果あり。

**質** 食育や市内産食材利用への取り組みのPR方法は。

**答** 献立だよりでお知らせしているが、食育に特化したチラシも工夫したい。

**質** 移住傾向の高い子育て世代を定住へと繋ぐため、部課でPRを考えるのではなく市全体の施策の中で考える必要性は。

**質**

バス・すそのーる・デマンド型タクシーを  
組み合わせた運用は

**答**

行政・事業者・住民が一体となり  
地域特性にあう手法の模索が必要

**答** 戦略広報課ができ各課で情報共有や連携を図り、独自施策の戦略的PRが必要である。

**質** 市長に「子育て日本一」を目指してほしいが。

**答** 「子育てに日本一優しいまち裾野」を目指す。

**質** 市内のバスの利用が伸びない理由は。

**答** 自動車保有台数の増加や、自家用車に比べ時間や目的地などの利便性が限定されるため。

**質** 市内の公共交通空白地はどこか。

**答** 空白地は、富岡地区(上城・中村・下条区)、バス圏外

は東地区(峰下市の瀬区)の一部、深良地区(原区)周辺が該当。

**質** 地域公共交通会議で、現在ある問題点の研究や収益向上の取り組みを行っているか。

**答** 路線の廃止や決定をする会議であるため行っていない。

**質** 全額国庫補助の地域公共交通調査事業について検討したことはあるか。

**答** 今後の方針検討と併せて活用についても検討したい。



すそのーる



すぎもと かずお  
杉本和男

**質** 平成25年度決算による、1食あたりの経費(給食関係職員人件費、維持費、設備費)はいくらか。

**答** 給食センターと自校方式による1食あたりの経費は、①給食センターは、300.54円、②多人数学校(東、西、富一小)は、118.23円、③少人数学校(深良、須山、向田、千福が丘小)は、197.11円となる。

**質** 給食センター、各学校の1人当たりの年間の経費はいくらか。

**答** ①給食センターは、5万4,097円、②多人数学校は、

**質**

少人数学校給食(自校方式)の  
給食センターへの移管は

**答**

現在の給食センターの調理能力は  
2,100食程度。移管は難しい状況

2万1,327円、③少人数学校は、3万5,479円となる。

**質** 給食センター、各学校の給食員1人当たりの調理数は。

**答** 調理員の人数で計算すると①給食センターは108食、②多人数学校は119食、③少人数学校は86食程度となる。

**質** 小中学校の給食をセンターで一元管理すべきと考えることから検討を始めるべきでは。

**答** 小中学校の給食を給食センターで一元管理することは設備管理、事務管理、労務管理、衛生管理などの集約と合理化を図ることが期待できる。今後給食業

務の安定的運営を進めるに当たり、既存施設の有効利用や長寿命化対策とあわせ、総合的に研究、検討しなければならないと考えている。多方面からご意見を伺いながら集約と合理化に向けて検討をしていきたい。



学校給食センター(深良)



## 総務委員会 視察報告

平成 27 年 1 月 20 日 大阪府岸和田市 人材育成型人事考課制度

組織力の強化のための手法として人材育成型（人と組織を育てる）の人事考課制度を開発した。評価にあたり、行動を一番よく観察できる本人が、本人考課を行い自己申告する。上司は本人考課を最大限尊重した上で考課し、結果を本人に開示することで評価の違いを気づかせる。またフィードバック面談を行い意識のギャップを埋めている。



平成 27 年 1 月 21 日 大阪府貝塚市 行政評価制度の導入と活用

行政職員の主体意識向上を目的に導入。「なんのために、その仕事を行っているのか」という仕事の目的に対する認識を深める。また、手段の妥当性や成果などを明らかにするために、事務事業評価から取り組む。事務事業が上位施策のどの部分を担っているか理解でき、目的意識を持って業務に取り組めるため、事務事業の PDCA\* サイクルを醸成できる。職員の意識アンケートによると、導入前と後では、仕事の目的の理解度が 29.7% アップした。  
\* PDCA=Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)



## 厚生文教委員会 視察報告

平成 27 年 1 月 22 日 滋賀県東近江市 協働で行う生活困窮者自立支援

国からモデル事業として受託し、新規に検討開始し作り上げた事業。多くの課題があったが、熱意ある担当者の「突破力」により短期間での実現が可能となった。必要とされる支援をするために、縦割りではなく横の連携により支援機関が協働し、それぞれの問題解決につながるような支援体制がとられている。



平成 27 年 1 月 23 日 滋賀県湖南市 発達支援システム

発達障がい児を含む支援が必要な人に対し、乳幼児期から学齢期、進学、就労に至るまで、一貫した支援体制を構築している。教育・福祉・保健・就労・医療の関係機関による横の連携でのサービスと、個別指導計画・個別移行計画による縦の連携でのサービスを提供している。支援に必要な個別指導計画や療育の記録などを、IT ネットワークを用いて 25 歳まで共有保管し、過去の経緯の把握に役立てている。



## 産建水道消防委員会 視察報告

平成 27 年 1 月 29 日

宮城県大衡村<sup>ひら</sup> トヨタ自動車東日本(株) 本社および大衡村役場

工場の製造過程では 5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）が行き届いており、工程ではロボット化・自動化が図られている。また、工場内での工夫やアイデアなどの展示が行われており、地域の方とのつながりを築いていく空間として機能している。



平成 27 年 1 月 30 日 福島県相馬市 相馬市防災備蓄倉庫

先の震災の教訓を生かし、有事に備えるため、倉庫には 16 列の移動式ラックが整備され、各防災備品がコンピュータで在庫管理されている。また備蓄品の耐用年数は通常 2 年のところ 5 年の物を使っているため、価格では通常の倍の単価ではあるが、管理周期が長く、効率的に管理されている。倉庫内には研修室が設けられており、非常時には 20 人程度が宿泊できる施設としても利用可能である。まさしく国内トップクラスの防災倉庫となっている。



## 議会運営委員会 視察報告

平成 27 年 2 月 2 日 愛知県犬山市 議会改革の取り組み

情報公開の促進として、政務活動費や議長交際費の使途の公開、委員会や全員協議会、議会運営委員会の会議録の公開など、ホームページを利用した情報公開を積極的に行っている。また、全員協議会で協議をし、「実施できるものについては即実施する」という方針で取り組んでいるため、内容を検討するときに非常にスピード感がある。委員会が関係団体と意見交換を行う場を設けており、具体的な政策提言に結び付けやすい。



平成 27 年 2 月 3 日

とよたエコフルタウン 低酸素社会システム実証プロジェクト

温室効果ガス排出量の大幅削減を目的として、市民・大学・企業・行政が連携した取り組みを行う推進協議会を立ち上げる。市の重点的な取り組み事項として交通分野に取り組んでいる。現地には水素ステーションが設置され、用地の無償提供や国との調整に行政が支援を行っている。



## 議会だより編集委員会 視察報告

議会だよりの編集、議会インターネット中継など

平成 27 年 1 月 13 日 静岡県長泉町

特徴ある項目として、①一般質問のその後をフォローする記事「あの質問どうなった？追跡」の掲載、②町内の頑張っている人を取り上げる「街角インタビュー」の掲載、③インターネット中継のため、平成 24 年 11 月から映像の録画を開始し、翌年 5 月から配信を実施、が挙げられる。

平成 27 年 1 月 13 日 山梨県南部町

特徴ある項目として、①既存の光ファイバー防災行政無線システムを利用した「声の議会だより」の発行、②「町民の広場」として町民の声の掲載、③一般会計予算に具体的な項目を選定し、予算額と共に記載、④一般質問に対し「追跡」する企画を行っている点、が挙げられる。

平成 27 年 1 月 14 日 山梨県身延町

特徴ある項目として、①表紙の写真を市民に有償で委嘱していること、②町民モニターを委嘱し意見・感想を掲載、③一般質問に対し「追跡」する企画を行っていること、④議案の賛否は全てを掲載、が挙げられる。



## “議会改革” へ向け、全議員(21人)による 「議会改革特別委員会」を設置

### 議会改革特別委員会の開催状況

(平成 27 年 1 月 26 日)

第 1 回 特別委員会の運営方針  
特別委員会設置の目的の確認

(平成 27 年 2 月 18 日)

第 2 回 特別委員会の運営方針  
ルール作り

(平成 27 年 2 月 24 日)

第 3 回 特別委員会の運営  
正副委員長の補助員の人選

(平成 27 年 3 月 26 日)

第 4 回 正副委員長の補助員選出  
検討課題の提出

※今後、全議員から提案された課題の検討を実施



市議会では「議会基本条例」が施行され 2 年が経過しました。

さらに開かれた議会改革を推進するため、議会活動のあり方、議会改革に関する例規の整備など、調査・研究・検討を行います。

次の議会は 6 月 12 日(金)に開会します。

# 議会報告会を開催します

～ 3月定例会の内容説明や市政について意見交換～

市議会活動の報告や市民の皆さんと市政について意見などを交換する議会報告会を開催します。事前予約などは必要ありませんので、お気軽にご参加ください。



昨年の議会報告会の様子

と き／5月26日(火) 19時～20時30分  
 ところ／須山地区研修センター2階大ホール  
 市民文化センター3階35・36会議室  
 市民体育館1階大会議室  
 問合せ／議会事務局 電話：995-1839

## 議会を傍聴してみても……

どの質問に対する答えなのか、分かりにくかった。毎回、傍聴者が少ないと感じるので、多くの方に興味を持ってほしい。 30代・女性

現在、市には全く子育て支援されていると思わない。問題を単に財政的に厳しいで済まさず、市の責任を果たしてほしい。 40代・女性

公立の幼稚園を希望しても、難しい状況にあると思うが、単純に今ある公立・私立に数字の上だけ収めても問題解決にはならない。 40代・女性

質問・答弁の理解を深めるための関係資料を持たない傍聴者にとっては、議論についていけなかった。 50代・男性

初めて傍聴したが、議員の方の働きをみることで貴重なたくわんを体験した。同時に、市民の思いと市政の間に距離を感じた。 20代・女性

傍聴者の方からのご意見・ご感想ありがとうございました。紙面の都合上、すべてを掲載することができませんが、ご了承ください。



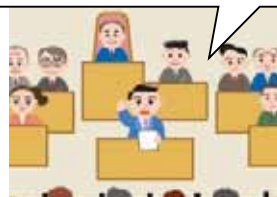
議会傍聴にお越しください

### 平成27年6月定例会（内定）

6月12日	金	本 会 議	10:00～
6月16日	火	厚生文教委員会	9:00～
		産建消防委員会	13:30～
6月17日	水	総務委員会	9:00～
6月18日	木	本 会 議 ( 一 般 質 問 )	10:00～
6月19日	金		
6月22日	月		
6月23日	火		
6月24日	水	本 会 議	10:00～

※委員会は、付託議案がない場合は、休会になります。

市役所5階の議会事務局で簡単な手続き（名前と住所の記入）を行えば、議会の傍聴をすることが出来ます。3月定例会の傍聴者は**140人**でした。



### 議会をチェック!!

裾野市議会 検索

### 編集委員

- 委員長 杉山 茂規
- 副委員長 村田 悠
- 委員 岡本 和枝  
岩井 良枝  
井出 悟  
廣瀬 主博